

(様式2(1))

事業所名 あっぷるグループホーム加古川

## 目標達成計画

作成日: R7年 3月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	終末期医療・介護から看取りに入る時期の家族の想いや迷いに寄り添い、安心と納得が得られる選択肢が提供できる情報量の蓄積と事業所連携の実現について。	終末期から看取りまでに想定される家族の悩みや迷い・想いのプロセスについて、職員の学びの機会を作る。 また、選択肢としての情報を視覚的に分かりやすくする。	「悲しみの5段階」について、職員研修に取り入れ学びを深めることによって、ご家族に寄り添った支援を行う。 また、選択肢を口頭で説明せず、視覚化して明示することによって、安心と納得に繋げていく。	10ヶ月
2	8	資料を読んだ研修は行っているが、職員の理解をより深め支援に繋げるために、専門家を呼んで具体的な話を聞くような研修の機会を持つのが良いのではないか。	外部講師か内部専門家の講師にか、講義依頼を行い、各種事例を挙げてもらいながら、説明してもらい、学びを深める。	年間研修計画の権利擁護について学ぶ時に、外部専門家か、社内の社会福祉士に依頼して具体例をあげて分かりやすく説明してもらい機会を作る。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。